

平成 17 年 6 月 27 日

## 平成 17 年度「情報処理」

(前期月曜日第二時限、担当：篠原文陽児)

【課題 3】成績処理に Excel を使い、目的に応じて、適切なグラフ表現ができる。

### 【課題解決の手順】

次の手順で演習など行う（1部の作業は、授業で詳しく説明などする）。

まず、デスクトップに新しいフォルダを作成し、その名前を excel\_pr とする。

次に、添付ファイルを、今作成したフォルダに保存する。その上で、以下の課題を遂行する。なお、授業以外には、添付ファイルの利用は、他人への再配布を含めて、禁ずる。

- (1) A1 1 に自分の氏名を入力する。
- (2) B1 1、C1 1 などの算数、国語、理科、社会、体育の点数は、それぞれ、90、70、80、60、70 を入力する。
- (3) I1 1 には、姓名の「姓」の読み方をひらがなで入力する。
- (4) 各人の合計点、平均点をツールメニューの「挿入」「関数」から適切な関数を選んで計算する。
- (5) 各教科の教科平均、SD（標準偏差）を（4）に同じく、「関数」を使って計算する。
- (6) 合計点の高い順に「並べ替え」で表示し、このファイルを score1 として、excel\_pr フォルダに保存する。
- (7) score 1 を使って、
  - (ア) 教科ごとに、誰がもっとも高い点で、誰がもっとも低い点であるかが分かるようなグラフを 1 つ描き（「挿入」「グラフ」を使う）、sheet 2 に表示させ、適切な見出しを書く。
  - (イ) 個人ごとに、どの教科が高い点であるかが分かるグラフを 1 つ描き、(ア) に同じく、sheet 2 に表示させ、適切な見出しを書く（したがって、sheet 2 には、2 つのグラフが描かれていることになる）。
- (8) 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選び、score 2 として保存する。
- (9) score 2 を添付ファイルとして、7 月 11 日（月）の授業時間内午後 12 時までに、篠原あて送付する。ただし、混乱を避け、かつ、確認のために、送信した旨を必ず篠原に口頭で、明瞭に伝えること。

以上